

何三振開屆候事

明治六年八月廿一日

大臣大臣代理

右後後藤藤象三郎

右後江森新平

開拓使

八五十一号



當使五等出仕西村貞陽本月賜休日敷
中豆州熱海江去_レ七月_日發向旅行候条
此段御届申上候也



明治六年八月九日

開拓使官黒田清隆

太政大臣三條實美殿

開拓使

北海道及樺太ノ地ハ當使創置以來專ラ力ヲ開
拓ニ用ヒ未タ兵衛ノ事ニ及ハス今ヤ開拓ノ業
漸ク緒ニ就キ人民ノ移住スル者モ亦隨テ増加
ス之ヲ鎮撫保護スル所以ノ者無カルヘカラス
況ヤ樺太ノ國家ノ深憂タルハ固ヨリ論ヲ待タ
ス故ニ今日ノ急務ハ軍艦ヲ備ヘ兵衛ヲ置クニ
アリ抑モ管内鎮臺ノ設ケ自ラ府縣ノ法ニ准シ
施行アルヘシト雖モ其全備ヲ求ムレハ費用甚

〇
〇
〇

北海道及樺太ノ地ハ當使創置以來專ラ力ヲ開
拓ニ用ヒ未タ兵衛ノ事ニ及ハス今ヤ開拓ノ業
漸ク緒ニ就キ人民ノ移住スル者モ亦隨テ増加
ス之ヲ鎮撫保護スル所以ノ者無カルヘカラス
況ヤ樺太ノ國家ノ深憂タルハ固ヨリ論ヲ待タ
ス故ニ今日ノ急務ハ軍艦ヲ備ヘ兵衛ヲ置クニ
アリ抑モ管内鎮臺ノ設ケ自ラ府縣ノ法ニ准シ
施行アルヘシト雖モ其全備ヲ求ムレハ費用甚